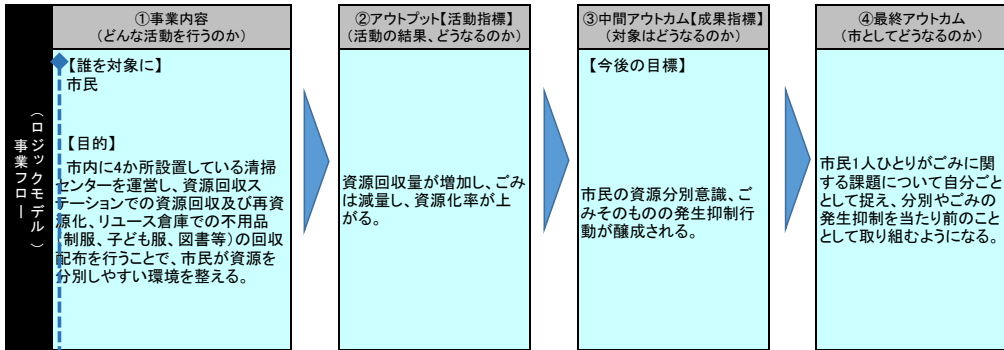


長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	20	事業名	清掃センター運営事業	担当部課	くらし文化環境課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 一般廃棄物処理基本計画、清掃センターリユース揭示板運営要領、清掃センター子ども服・図書リユース事業実施要領		4-2-1 清掃費	
	事業開始の背景、経緯等	平成11年度策定の第4次長久手町総合計画において、清掃センターの建設を掲げる。平成19年度清掃センター(ながくてエコハウス)開館、平成29年度出張ながくてエコハウス開設、令和4年度西部及び東部ながくてエコハウス開設			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		



項目	単位	区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
			(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)
事業費(A)	千円	予算	9,722	9,829	10,279	11,432	12,846
		決算	9,704	9,454	10,373	11,883	-
人件費(B)	千円	決算	7,070	6,733	6,632	6,703	-
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	16,774	16,187	17,005	18,586	-
事業対象の数(D) (R5年度は想定数)	人		186,514	178,059	212,105	214,655	220,000
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		0	0	0	0	

中間アウトカム【成果指標】の数値設定 (事業の意図を反映する指標)	単位	【現状】		【目標①】	【目標②】
		R4年度(2022)年実績	R5年度(2023)年実績	R5年度(2023)年実績	R10年度(2028)年実績
資源化率	%	20.9		26.9	30.0
(指標の設定根拠)		(数値目標の根拠:調査名、調査年など出典)			
資源を回収することで、ごみの減量につながる。		資源回収量+ごみ排出量			

事業開始からの経緯など	平成19年度にながくてエコハウスを開館以降、市民に資源を拠点まで出しにくる意識や習慣が根付き始めている。さらに市民が資源を分別しやすい環境を整えるため、平成29年度には長久手南部地域に出張ながくてエコハウス、令和4年度には西部と東部にそれぞれ出張ながくてエコハウスを増やし、市内に市が管理運営するエコハウスを徐々に増やしてきた。その結果、利用者数も徐々に増え、市民の資源化意識が定着した。
令和4年度の成果	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和4年度には西小校区共生ステーション駐車場、福祉の家駐車場にそれぞれ出張ながくてエコハウスを増やし、市内に市が管理運営するエコハウスを合計で4か所とした。その結果、利用者数も徐々に増え、市民の資源化意識が定着した。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 今後も資源回収拠点を増やし、市民が資源を出しやすい環境を整えたいが、市が管理運営できる数には限界があるため、地域が管理運営できるような資源回収拠点の仕組みづくりをしていく必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事業の方向性) 市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者が増加していることから出張エコハウスを開設したが、今後は市や地域による資源回収拠点の設置及び管理運営する仕組みを構築し、それを増やすとともに市民の利便性を高めていく。10年程度先には、まちづくり協議会や連合会・区会とも連携し、各小学校区に1か所以上、地域による資源回収の仕組みを作り、地域主体のごみの減量化・資源化を推進していきたい。また地域拠点に人が集まることにより、会話やつながりが生まれ、本市の地域コミュニティ強化につなげていきたい。
--------	--

事務事業①	資源回収拠点事業							
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
(1) 運営に携わる市民の人数	人	見込	48	48	96	144	192	
		実績	0					
(2) 【アクションプラン】 市による資源回収拠点設置数【累計】	箇所	見込	4	4	4	4	4	
		実績	4					
(3) 地域による資源回収拠点設置数	箇所	見込	1	1	2	3	4	
		実績	0					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>							今後の方向性	改善・見直し
・西部と東部に出張ながくてエコハウスを設置し、市が管理運営する資源回収拠点を合計4か所とした。							コスト投入	現状維持

事務事業②	資源回収拠点事業							
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
(1) 運営に携わる市民の人数	人	見込						
		実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>							今後の方向性	
							コスト投入	

事務事業③	資源回収拠点事業							
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
(1) 運営に携わる市民の人数	人	実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>							今後の方向性	
							コスト投入	

事業を構成する事務事業④	資源回収拠点事業							
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
(1) 運営に携わる市民の人数	人	実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>							今後の方向性	
							コスト投入	